

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	排泄表が目に見える場所にあるなど、プライバシーの確保が充分ではない。	プライバシーが十分に確保できる。	<ul style="list-style-type: none"> 排泄表は使用時のみ表にし、普段は裏返して置いておく。 入居者に関する話は入居者に聞こえない場所で行う。 居室に入室中は必ずノックして扉を開ける。 	6ヶ月
2	13	<ul style="list-style-type: none"> ケアプラン以外の部分での対応、声掛けが職員によってちがう。 グループホームの職員は認知症のプロとされているが、実際はどうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症についての理解を深める。 対応や声掛けが職員全員共通のものとなる。 グループホームの職員として恥ずかしくないように知識を深める。 	認知症ケアマニュアルに沿ってグループホーム内で勉強会を行う。それぞれがお互いに問題を出し合い、スタッフ会議等で振り返る。	12ヶ月
3	49 52	<ul style="list-style-type: none"> 日常の業務に追われて、季節感のある生活をして頂けていない。 誰かがやるだろうと人任せにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 季節感のある生活をして頂く。 畑の野菜や旬のおやつを提供をする。 壁面に季節にあった装飾をする。 ドライブや外出などで季節を感じて頂く。 	月単位(壁面は季節ごと)に企画の担当者を決め、前もって企画を立て、計画どおりに実行する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。